

畜産臭気対策の取組状況について

【畜産臭気測定結果】

1 調査の目的

○令和3年度の調査では、堆肥化施設の攪拌作業と臭気指数に相関性は具体的に確認できず、常に臭気が確認された。

⇒令和4年度の調査では、事業所内の各施設の臭気発生状況を確認した。

2 実施内容

○市内養豚場（全10事業所）の場内にて臭気指数を測定した。（全78箇所）

3 実施日

○令和4年7月20日～9月5日（1週間に2～3事業所を測定）

4 調査結果

(1) 養豚場内の主要な施設の付近で測定した結果

主な施設分類	臭気指数の平均値	最大値	最低値	測定箇所
廃水处理施設（尿槽等）	26.5	32	25	10箇所
堆肥化施設	25.86	37	17	7箇所
豚糞排出口	21.2	25	14	5箇所
豚舎	20.98	31	10未満	40箇所
堆肥舎	20.43	26	14	14箇所
その他（事業所入口）	14	15	13	2箇所

（参考）敷地境界における市の基準値は市街化区域が15、その他の区域が18

⇒養豚場内のいずれの施設も臭気の高い値が確認された。

(2) 臭気の種類別出現頻度

臭気の種類	飼料臭（干物臭）	尿臭（アンモニア臭）	堆肥臭（発酵臭）	糞臭（ストール臭）
出現頻度／地点数	32/78	19/78	14/78	13/78

※臭気判定士が現地調査時と分析時に感じた臭気質を大別して4種類に分類した。

⇒豚舎から発生する飼料臭の出現頻度が最も高かった。

(3) 臭気指数上位地点と臭気の種類の関係

臭気指数	37	32	32	32	32	31	31	30	29
臭気の種類	尿臭	尿臭	尿臭	尿臭	尿臭	飼料臭	堆肥臭	飼料臭	尿臭
施設の分類	堆施	堆施	廃水	廃水	廃水	豚舎	堆施	豚舎	廃水

※堆施：堆肥化施設 廃水：廃水处理施設

⇒堆肥化施設と廃水处理施設が強い尿臭を発生し、測定値の上位を占めた。

【今後の対策と課題】

○養豚場内すべての施設で臭気対策が必要

⇒畜産環境に詳しい専門家にアドバイザーとして参加いただき、事業者と個別面談を実施し、全ての測定箇所（施設）の改善対策を協議する。その後、対策可能なものから実施し、市が財政支援を行う。なお、予算が不足する場合は、補正等で対応する。

以上